



心に寄り添い、共に支えよう

P-KYO NEWS

No.01
November ,2025

発行：杉中P協 広報担当



情報交換会
25/10/21の様子 //

PTA役員決めってどうしてる？

今年も来年度のPTA役員を決める時期がやってきました。各学校（単P）のPTA役員が多く集まる杉中P協でも、役員決めは毎年頭を悩ませるテーマです。情報交換会では、さまざまな声が寄せられました。

- ・ 互選会を開いているが、一度では決まらないことが多い。
- ・ 他薦制度で2名を推薦する。会長のみ前会長の推薦による。
- ・ 役員の人数を増やし、業務を分担することで負担を軽減しました。
- ・ 押し付け合いがイヤになって、挙手しました。来年も役員をやります。
- ・ どうしても足りない場合はくじ引き。
- ・ 規約を見直して、選考委員からの立候補も可能にしました。
- ・ 会長、副会長をなくし共同代表にしました。

このように、杉中P協で開催された情報交換会では、各校の工夫や悩みが率直に共有され、大変盛り上がりました。通常の会議とはひと味違う、熱量のある時間となりました。

WHAT'S P協

杉中P協（杉並区立中学校PTA協議会）は、区立中学校のPTAがつながり合い、子どもたちの教育活動をより良くするために協力し合う場です。

各校の保護者代表と校長が集まり、情報交換会や教育委員会との懇談、行政への要望、研修やセミナーの企画、給食運営協議会や駅伝大会への委員派遣など、さまざまな活動を行っています。



EVENT

7 / 20 sun

さんだるセミナー
in 杉並



EVENT

10/19 sun

すぎなみ舞祭派遣事業

グッズ販売ブースの業務。
舞祭りVer.なみすけ缶バッジ
が大人気でした。

情報交換会で話題に！各校PTAの工夫

持続可能なPTAを目指して

PTA活動をもっと身近に、もっと続けやすく。

情報交換会で注目した、各校の取り組みをご紹介します。

PTA NEXT「オリーブの会」

中学PTAから卒業後も地域から学校に関われる団体として「オリーブの会」を立ち上げました。

保護者だけでなく、卒業生も登録できる仕組みで、学校行事のお手伝いや地域活動のサポートなど、無理のない範囲で関わることができます。

もともとはアンネのバラの維持費を支える募金活動からスタートしました。

最近では、高校でボランティア活動が課題として出されることもあり、卒業生が地域と関われる“受け皿”としても期待されています。

「卒業して終わり」ではなく、「卒業してからも、少しだけつながる」

——そんなあたたかな関係づくりを目指しています。

PTAに対してポジティブになってもらう会 開催

PTA役員の成り手が年々減少する中、例年通りアンケートを配布して選考を進めるだけでは、保護者にとってネガティブな印象が強まるばかり。そんな課題感から、役員選考の進め方そのものを見直すことにしました。

その一環としてPTA活動への理解と関心を深めてもらうことを目的に、「PTAに対してポジティブになってもらう会」を開催しました。

「PTAってどんなことをしているの？」という素朴な疑問に答える場を設け活動内容を紹介しました。少しでも興味を持ってもらうことで、PTAへのイメージを前向きにしていこうという試みです。

今後も、保護者の皆さんが気軽に参加できるような工夫を重ねながら、より開かれたPTAを目指していきます。

PICK UP! こんな活動をしています



令和8年度 教育予算要望書を提出しました。 2025/7/18（金）

各学校（単P）が重点的に予算を入れてほしいことなどの意見をまとめ、杉並区教育委員会・教育長へ予算要望書を提出いたしました。

MEMBER'S VOICE

単Pでの活動での困りごとを相談できる「場」としてP協は大変有益な場です。

会則変更を計画しているという中学に対し、シンプルなPTA会則の中学が「参考に」と会則を共有してくださり、とても参考になりました。

他校のPTA会費などを参考に、自校の会費の減額を提案予定です。

「なんとなく続いている」ではなく、「今の時代に合った形」を模索していきたいと思っています。

学校にはPTA以外にも、さまざまな団体があります。それぞれの活動がある中で、PTAは“当たり前”に見なされる場面もあり、戸惑うことがあります。

他校でも似たような経験があると知り、共有・共感してもらえたことがとても心強く感じられました。

令和7（2025）年12月1日発行
杉並区立中学校PTA協議会

会長 伴野 由紀（高南中）
編集長 小出 智子（和泉中）
編集 緋田 恵美（松ノ木中）
近藤 哲生（大宮中）
小野 美苗（泉南中）